杉森

杉並区立 杉森中学校
学校だより 第３２５号
平成２４年９月２７日
平成２４年度　第５号

「２学期は自分自身との闘いから」

校長　大橋　亮介

今年の夏休みは、いつもと違い１週間早く２学期が始まった。教員生活初めての体験。私は、生徒が２学期のスタートをきることができるか心配だった。しかし彼らの学校生活をみると、そんな心配はすぐに消えた。それは、夏休み中にも、世間がお盆休みでさえ部活動があり、学校で、生徒の姿を見ない日がなかった。学期中とは違うが、毎日規則正しい生活をしていたことがうかがえる。このことは、将来に大きく役に立つ。仕事ができる人は、自己管理がしっかりできると言われている。(「どのレベルを仕事ができる」と言うかには差がありそうであるが…）私自身、自己管理ができているかと言うと何とも言えないが、自分自身をしっかり管理できるようになろうと努力しているのだが…。

前号の学校だよりでは、「日本選手が、ロンドンオリンピックで日本中を夢や希望、そして感動を与えてくれることを信じている。」と書かせてもらった。夏休みは、オリンピックで日本中が沸き、日本選手のみならず世界中の選手が想像をはるかに超える感動を与えてくれた。「やればできる！」と思わず自分の拳を握る場面がたくさんあった。また、その後のパラリンピックでも、体のハンディに打ち勝ち、多くのメダルを獲得した。オリンピック選手は、肉体的にも精神的にも自己管理能力に秀でていると言ってもよいだろう。

生徒には、選手ほどハイレベルの自己管理能力を身に付けなくてもよいと思うが、心身ともにバランスが取れた管理能力が必要である。なぜなら、２学期は、行事の秋、読書や勉強の秋。杉森生が、最も成長する時である。行事は、ドラマを作り、生徒一人一人を成長させ、学級や学年の絆もより深まる。お互いが思いやりを持ち、助け合いながら素晴らしい行事にしていく。また、勉強に励む最適な季節でもある。日々の授業を大切にし、しっかり勉強する。学校生活におけるドラマ作りには、様々なトラブルもあることは間違いない。自分が「よいこと」「正しいこと」をしていると信じているときは、自分一人の考えや価値観だけで判断し、周囲にいる人や全体の配慮を忘れてしまっていることが多いものである。私たちは、人と人との関わりの中で成長する。だからこそ相手を認め、相手の言葉に耳を傾け、相手を尊重することで自分も成長し、広い視野で物事を考え現状を打破し、より前向きで創造的な力を発揮することができるのである。まずは、周りに求めるより自分自身を正す心がけで物事に臨めば、おのずと周囲の人からも信頼され、成すべき事が成功につながっていく。

個人は集団のために、集団は個人のために、私たち一人一人が主体的に自分の力を発揮し、集団がより高い目標へと進歩する。そのためには、「自分の足元から正す。求めるよりも自らを正すこと」が大切である。何事も自分との闘いからである。そうすることで、人としてより大きく成長していくのである。

～ 7～9 月のアルバム ～

【 普通救命講習 】7／19（木）

3 年生が全員で、普通救命講習を受けました。心肺蘇生法やＡＥＤの操作を学び、実際に体験しました。

【中学生レスキュー隊】8／20（月）

杉並消防署との連携で、各種訓練に参加しました。写真は、7mの高さからの降下訓練、ロープを使った渡過訓練、放水訓練です。

【学校公開／道徳授業地区公開講座／学校説明会／講演会】9／6（木）～12（水）

延べ４５７名の方にご来校いただき、普段の授業や部活の様子をご覧いただきました。

講演会は、伴野博美様（ 社会教育アドバイザー）による「学校・保護者・地域が共に育てる子どもたち」をテーマとしたお話しでした。

【１年：移動教室 】9／１８（火）～１９（水）

相模湖プレジャーフォレストで、嵐山ハイキングの後に、火起こしから始めた飯盒炊爨。夜はキャンプファイヤーとフォークダンス。

自分の判断で行動することの大切さを学んだ一泊二日でした。

【 震災救援所訓練 】９／２３（日）

地域の町会主催による訓練です。雨の中、中学生レスキュー隊も参加し、総勢１３３名が整然と活動していました。

【 部活動記録 】

男子バスケ部　区研修大会Ｄブロック　第１位
女子バスケ部　区研修大会Ｄブロック　第１位
吹奏楽部　都吹奏楽コンクール　銀賞
卓球部　区選手権大会個人戦　第２位
都大会出場
ダンス部　都総合体育大会　学校対抗　１１位
オープン　６位

【 １０月の予定 】

10／ １（月）都民の日
２（火）３年 修学旅行（終）
給食試食会
３（水）３年振替休業日
杉教研　45 分×4 時間
5（金）第２回進路説明会
6（土）ふれあい運動会（杉十小）
8（月）体育の日
11（木）・12（金）中間考査
15（月）合唱練習（始）
25（木）合唱コンクール
29（月）いのちの教育
31（水）校内研究授業（2 年）